

HOME STRAIGHT

富士スピードウェイマガジン ホームストレート

No.

6



富士での「瞬間」

“競争しない戦略”の
モノづくりが
座る人すべてを
幸せにする。



BRIDE 株式会社

BRIDE Co., Ltd

1981年に自動車用シートを製造販売するメーカーとして愛知県東海市で創業したブリッド株式会社。モータースポーツに特化した商品開発とブランディングにより、国内の競技車両において圧倒的なシェアを誇る。40年以上ひたすら「座席」を作り続け、そして改良し、商品管理を追求してきた現場主義の高瀬嶺生社長が語った“競争しない戦略”でNo.1に挑むモノづくりの神髄。それは目からウロコの連続であった。

モータースポーツの競技車両に欠かせないスポーツシートのトップブランド・BRIDE。ジムカーナやダートラをはじめ国内のJAF公認競技では圧倒的な装着率を誇り、クラフトマンシップや商品管理にこだわった品質の高さは、名だたるプロドライバーのお墨付きだ。

「創業時はストリート向けのリクライニングシートを中心に作っていたんですが、業界内でトップを目指すには海外ブランドに勝てる専門的なジャンルに特化するしかないと考え、スポーツシートだけを掘り下げてきました。最近はセーフティテクノロジーに対する取り組みは常識レベルですが、その当時はクルマのシートに高いお金をかけることを躊躇する時代でしたね」

いまや圧倒的シェアを持つ同社の高瀬嶺生社長は、若い頃に整備士としてクルマに携わり、その後営業を学び、独立開業した。

「とにかくクルマが好きで走ることが好きでした。周りに自動車競技をやっている方も多く、その影響もあって競技向けシートに目がいったんでしょうね。作っては付けて走らせて、何度も何度も徹底的に改善しました。そのうち走り屋の文化は合法的なサーキットでの走行会やレースへと変わり、我々の車検対応スポーツシートが大きく認められるようになりました」

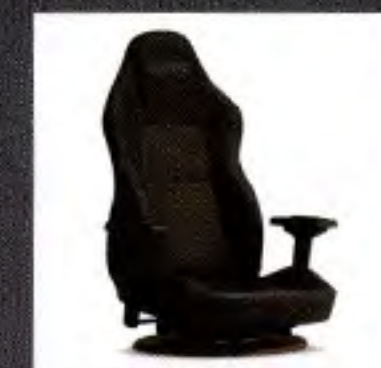
業界内ではいち早く保安基準に則った試験をおこない、車検対応モデルを発売。さらに日本初のFIA公認取得。商品開発の技術、知識、ノウハウと全てが熟成されていった。

「創業から41年間、一度も大きなクレームがないというのは当社の自慢だと思いますが、商品が商品ですから、命を守ることを最も大切にしています。安全に対する追求は止められません。小さな改良も大きな改良も、自社で丁寧に人の手でやるからできる。」



マルチキャスタープロシリーズ

BRIDE製シートを組み合わせること
で自分専用のホームチェアやオフィス
チェアになる。テレワーク、eスポ
ーツ、ゲーミングなど様々なシーンに
対応。各部品を世界有数のパーツ
メーカーから集めて製作した自信作。



フローリングチェア
シリーズ

BRIDE製シートを座椅子のように使
えるユニークな「ZASITZ(ザシツ)」
と機能性を重視した業界初のロッ
キングシステム「EMPEROR(エンペ
ラー)」(完全ハンドメイドのため月間
10脚の限定生産)。



コンフォルテ
アイソフィックスシリーズ

国産チャイルドシートの老舗ブラン
ド・リーマン株式会社と共同開発し
たBRIDE初のチャイルドシート。レー
シーなデザイン、最新安全基準R129
対応、取付簡単な回転式ISOFIXモ
デル、安心安全の純日本製モデルだ。



エディルプ
シリーズ

その名もBRIDEの反対読み。新素
材プロテインレザーを採用したワン
ランク上のプレミアムモデル。主に
輸入車やハイパフォーマンスカーに
マッチする洗練されたデザインと程
良いコンフォート感が特徴。

大量生産を機械でやるメーカーと明らかに違うのは、特注品の
先端素材を使い、完全ハンドメイドでシートシェルを作ること。
そしてクオリティの高い縫製と熟練した職人による仕上げ。
結果、当社だけの高い品質と精度を作り出せるのです」
そうした企業努力は今、多様化する時代のニーズに対応したモノ
づくりで昇華されている。

「近年、理念を変えたんですよ。勝ち負けが大事なのではなく、
座る人すべてを幸せにできるモノづくりを考え、自社が持つ特許
や構造、腰痛に対する技術やノウハウ、そういったものを異業種
他社と提携・共有することで、我々に対する新しいニーズが生み
出せると考えました」

高瀬社長がインタビュー中に座っていたオフィスチェアは
同社のマルチキャスター PROシリーズだが、最近のお気
に入りは座椅子タイプのフローリングチェアZASITZ(ザシツ)。
これらは自動車用スポーツシートを日常生活にシクロ
させたアイデアだが、この流れは一般的なオフィスや家庭だけ
でなく、スポーツスタジアムやeスポーツのゲーミングチェア
など、多岐にわたる。

「当社初のチャイルドシートは、老舗ブランドであるリーマ
ン社との共同開発。BRIDEがこれまでフルバケットシートをは
じめ様々なシート作りで培ってきたノウハウを盛り込んでいま
す。また、ロッキングチェアベースのエンペラーは、オールハン
ドメイドのベースチェアを作る職人がBRIDEのファンだった
ことからコラボが実現しました。このように、長年積み上げて
きた実績や知的財産というものを、他社と競争させるのではな
く、共存させることでよりお客様のニーズに的確に応えられる
商品作りができると確信しました」

Withコロナの時代、BRIDEのシートならテレワークで1日中座
りっぱなしでも腰痛にならなくなったというユーザーが増えてい
るという。カー用品店に行っただけで知らないユーザー層が、家の中

でBRIDEのホームチェアを気に入って愛用しているなんて話も
多く聞かれるという。

「スポーツシート屋さんだったけど、見せ方を変えれば快適な
シートをチェアとして、いろいろ作る会社になれる。メディア戦
略や外に対していかに魅せるかということは非常に大事で、それ
ができるのは、お客様一人ひとりのニーズ、使い方や様々な条件
に対応してきたからなんです」

最近ではYouTubeのチャンネル発信も積極的で、自社専属のド
ローンカメラマンやクリエイターを各所に配属している。「タイア
ップしているレースチームやスポーツチームが、BRIDE製品を使
うことでハイパフォーマンスを発揮できている様子を、自分達が
率先して記録して公開していく。これもブランディングのひとつ
ですし、単なるイメージ広告ではなく、説得力のある数字やデー
タも必要。YouTubeは再生回数が顕著に影響するし、こういった
取り組みにはまだまだ満足していません。これからですね」

余談だが、レースシートのFIA試験がおこなわれるドイツへも
高瀬社長は自ら出向く。この現場主義が、座る人すべての幸せづ
くりを支えているということは、間違いないうらう。

Company Info



ブリッド株式会社
愛知県東海市東海町1丁目11番1号
<https://bride-jp.com/>

メイド・イン・ジャパンにこだわる国内唯一のスポーツシートブランド。
FSWのゴールフラッグポストに掲出された広告看板の巨大ロゴが印
象的だ。写真は2021年NAPAC富士SUPER TEC 24時間レースで
チェッカーフラッグを振る高瀬社長。

桑野将二郎 (NOWORK c.p.d.)